

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No.133



2000. 10

- シリーズ“!”本のある場所 ●学生用図書資料の充実に向けて ●附属図書館利用セミナー実施報告(静岡本館)
●ライブラリーオリエンテーション実施報告(浜松分館) ●教官著作寄贈図書一覧 ●図書館の動き ●開館日程表

シリーズ“!” 第2回 本のある場所

静岡大学の所蔵資料検索で本を探したら、次のように出てきました。その本がどこにあって、どうしたら手に入れられるかを、ざっと説明します。

書名: 環境問題の社会理論: 生活環境主義の立場から / 島越始之郎; 著
著者: 島越, 始之郎(1944-)

	①	②	③	④
1	静岡開架和	0089015465	519/TO67	書架
2	静岡開架	0089050223	519/TO67	書架
3	静岡開架和	0095003836	519/TO67	貸出中 2099/12/31
4	静岡開架和	0096140520	519/TO67	貸出中 2001/06/30
5	浜開架	8099037403	519/TO67	書架

①配架場所: 本が本来ある場所を、おおざっぱに示しています。上の例ですと、

静岡開架和 静岡本館の旧館1～3階

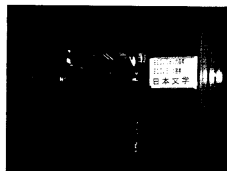
(静岡本館の開架は、大学院生以上、または入庫許可を得た学部学生が出入りできます)

静岡開架 静岡本館の5階閲覧室

浜開架 浜松分館の1～2階閲覧室

となります。その他「静岡開架新書」「静岡開架文庫」

(静岡本館5階閲覧室階段前)、「静岡参考」(静岡本館4階閲覧室)、「浜開架」(浜松分館1階事務室奥)、「浜参考」(浜松分館1階閲覧室)などがあります。



学生用図書資料の充実に向けて

白石光雄

静岡地区の本館では、4月から平日の開館時間が午後10時までで延長されました。7月10(月)～14日(金)までに実施した入館者調査によりますと、午後9時30分頃の在館者は、433名(一日当たり87名)にのぼり、順調なすべり出しを見せています。本年度は試行期間ですが、本館での本実施、および分館での同等なサービスを目指して準備を進める必要があるものと思います。

さて、それにしても少し気になることがあります。それは、5階開架書架(約9万冊)に配架されてる学生用図書には、新刊書が少ないということです。今後、開館時間延長などで利用者増が見込まれるなか、利用者の期待を裏切らないよう学習環境の整備に向けて、新刊書を中心にした学生用図書資料の充実、避けて通れない重要な課題になりそうです。

なお、新入生のみなさんには、新入生セミナー等で館内ツアーでくわしく紹介しましたが、館内には、この他、4Fに参考図書類(約1万冊)、閉架書架に58万冊の図書、雑誌のバックナンバーの蔵書を有しています。

近年、本学における図書資料の購入冊数は、頭打ちになっています。特に学生用図書資料の購入冊数は、平成11年度においては、約3,000冊しか購入できていません。同規模大学(B規模大学)と比較しても少ないことが、「学生用図書購入費に関する調査報告書」(国立大学図書館協議会 平成11年10月7日)で明らかになっています。学生用図書購費用の圧倒的な不足状態を改善するために学内予算配分での全学的な努力が求められています。ただし、限られた予算ですが、学生のみなさんからの購入希望については、随時、受付しております。希望もコンスタントに出ており、学習で必要とされた図書資料はほとんど購入しております。是非、「購入希望図書申込

書」を活用していただきたいものです。

この他に国・公・私立大学図書館の現状が明らかにされている「平成11年度大学図書館実態調査」における研究用図書を含む総受入冊数の統計を見ますと、国立大学の学生一人当たり2.8冊に対して、本学では、2.1冊となっています。因みに公立大学では、5.9冊です。(計算式: 総受入冊数÷学生総定員) 本学の蔵書冊数は、平成11年度末現在で、図書が1,065千冊、15,700種となっています。全国の国立大学で100万冊以上の蔵書を有している図書館は、23館ありますがこのままの推移が続くと中規模を維持することさえできなくなるでしょう。

本学の図書館は、静岡の本館、浜松の分館の2館があり、さらに両館の距離は、80km離れております。学部・大学院生及び教職員の配置人数を考えると、原則的には、同じ資料が2セット必要とも考えられます。しかし、収集に当たっては、不必要な重複購入は避け、限られた予算で効率的な収集を行うシステムも必要になると思います。

大学図書館は、言うまでもなく学術資料を収集・提供する使命をもっています。学術資料の収集範囲には、学生用図書・雑誌はむろん、教育・研究用資料、留学生用図書、参考図書、二次資料、視聴覚資料、電子化資料等多岐にわたっています。したがって、図書館資料の収集にあたっては、早急に共同利用体制を考慮し大学全体としての財政基盤支援体制を確立する必要があります。

今後、学生用図書資料の充実に向けて、財政基盤の安定的確保を図り、現購入システムの見直しを含め、計画的な収集体制の確立、集中化と重複購入の回避も意識しながら紙の媒体だけでなく、視聴覚資料、電子的資料についても共同利用を前提に整備していく必要があります。

(附属図書館情報サービス課長)

新入生セミナーのひとコマとして 附属図書館利用セミナーを実施

—95クラス中74クラスが参加、受講者数は975名に—

<図書館5階第2閲覧室に集合、クラス担当教官も参加！>

今年度は従来のオリエンテーションに代え、新入生セミナーにおいて「附属図書館利用セミナー」を試行的に実施しました。多数の担当教官の方々から予想をはるかに上回る参加の希望が寄せられ、新入生の70%が図書館利用セミナーに参加するという結果になりました。

このセミナーの目標としたことは、より多くの学生に、図書館に親しみを持って、気軽に図書館を訪れる習慣を身に付ける、その最初の機会を提供すること、また、図書館利用方法を体得することにより、学習・研究を含む静岡大学における全学生生活をより楽しく豊かなものにしてもらうことでした。

以下が実施要領です。

期間：4月から7月までの約10週の講義内の1コマ（90分）

場所：図書館5階第2閲覧室（Harvest Room）

体制：図書館職員4名と受講者15名以内で実施

<図書館職員4名が1つのクラス（15名以内）を担当、きめ細かい指導！>

12名の図書館職員が3つのグループに分かれ、通常入ることのできない書庫内を中心とした図書館ツアー、パソコンを使つての資料検索の実習を担当しました。また、このセミナーのために作成した12ページに渡る「附属図書館利用セミナー資料」を受講者に配布しました。

以下がセミナーの内容です。

(ア)図書館の概要

(イ)図書館ツアー

(ウ)パソコンによる蔵書検索

(エ)CD-ROM及びインターネット検索

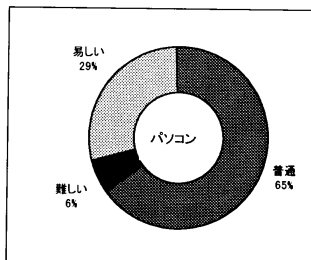


教官も加わり学生の指導にあたる職員

<1人1台のパソコンで演習問題に取り組み、OPAC と Webcat をマスター！>

パソコン検索実習アンケート結果

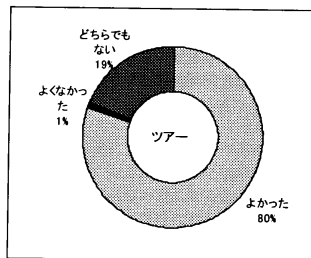
	人 数	比 率
難しい	60人	6%
易しい	279人	29%
普通	636人	65%
合計	975人	100%



<1階～5階までの図書館ツアーは駆け足だったが、広い書庫と蔵書の多さに驚きが！>

館内ツアーアンケート結果

	人 数	比 率
良かった	781人	80%
良くなかった	9人	1%
どちらでもない	185人	19%
合計	975人	100%



<改良と工夫を加え来年度に向け準備！>

大学図書館は情報化社会の進展により大きく変わっています。図書館を効率よく利用するために最新の利用方法を知ることには大変重要となっています。「図書館利用者教育を教養教育の一環として位置づけたい」という館長を含む多数の関係教官の意向と教養教育委員会の全面的協力とで実現した、授業の中での利用者教育は、本学では初めての経験でした。このセミナーに図書館職員は、緊張しながらも、一同全力で取り組みました。

アンケートでは様々な意見や要望をいただきました。今後は、これらの要望や教官の方の様々な意見を参考にし、利用セミナーの構成・内容に改良と工夫を加え質的にも利用者教育のレベルアップに努めたいと思います。

今回の試行を経て、新入生のための附属図書館利用セミナーが、全学的に受け入れられ、成長・定着して、当初の目標の通り、全ての学生の勉学・研究・教養などの学生生活の充実のために資すること、また、そのように活用されることを願っています。

新入生のためのライブラリー・オリエンテーション実施報告（浜松分館）

今年度から浜松キャンパスでも新入生を迎え、分館では初めてとなる「新入生のためのライブラリー・オリエンテーション」を実施しました。4月末から6月末まで全 22 回行い、約 300 名の新入生（全体の約 40%）が参加しました。図書館が予め計画したものは 10 回で、できるだけ多くの学生が参加できるように全ての曜日で実施しましたが、授業の関係で参加者は少なく 37 名でした。その他に、教官からの申し込みにより新入生セミナーの授業時間中に実施したものは 13 回となり、266 名が参加しました。オリエンテーションは、入門編となる Part1 と、より高度な検索編である Part2 に分けて実施しました。

Part1 は、本学所蔵資料が効率的に利用できるように、OPAC の検索方法を中心に行いました。まず、全般的な利用案内を行った後、OPAC の説明・デモを行い、コンピュータコーナーで実習。参加者が興味のある資料を実際に検索した後、図書館ツアーへ移りました。

図書館ツアーでは、自分が検索した図書や雑誌の確認をしたり、国際放送・視聴覚設備等を実際に使って楽しむ学生の姿が多く見られました。

Part2 では、学内未所蔵資料の探し方として、NACSIS-Webcat 等のオンラインデータベースの説明・デモを行い、次に、学内ネットワークを利用した雑誌論文 CD-ROM データベース等、レポート作成等で文献調査をする際に役立つさまざまなツールを紹介しました。

アンケートの結果は、検索方法が分かってよかった、ぜひ活用したい、これから図書館をいろいろ利用したい等、好評でした。

来年度以降の実施においては、検索方法がより習得できるように、実習用端末が整えられた環境での開催が課題となっています。

教官著作寄贈図書一覧

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ◇ 石井仁（工学部） | ・ 宗教的実存の展開：キェルケゴールと親 |
| ・ 転位に基づく破壊力学（J.ワートマン著） | ・ 創言社【139/KI14Y】 |
| ・ 培風館【501.32/W53】＜共訳＞ | ◇ 福田明（工学部） |
| ◇ 佐藤博明（学長） | ・ 基礎通信工学 森北出版 開架 |
| ・ ドイツ会計の新展開：国際化への戦略的ア | 【547/F74】 |
| プローチ 森山書店【336.9/SA85】＜編 | ・ 流星バースト通信 コロナ社 開架 |
| 著＞ | 【547.5/F74】 |
| ◇ 伊藤恭彦（人文学部） | ◇ 浜渦辰二（人文学部） |
| ・ ポスト・リベラリズム：社会的規範理論 | ・ 20 世紀の扉を開いた哲学：フッサール現 |
| への招待 ナカニシヤ出版【309/A71】 | ・ 象学入門 九州大学出版会 |
| ＜編＞ | 【134.9/H98H】＜訳＞ |
| ◇ 磯田雄二郎（人文学部） | ◇ 松本繁樹（教育学部） |
| ・ エッセンシャル・モレノ：自発性、サイコ | ・ 山地・河川の自然と文化：赤石山地の焼 |
| ドラマ、そして集団精神療法へ 金剛出 | ・ 畑文化と東海型河川の洪水 大明堂 |
| 版 開架【146.8/F42】＜監訳＞ | 【612.154/MA81】 |
| ◇ 山下秀智（人文学部） | ◇ 福井貞助（名誉教授） |

- ・伊勢物語と古典文学 風間書房
【913.32/F76】

◇ 山崎昌一（理学部）

- ・水と生命：熱力学から生理学へ（シース・ニューハート・イオシヅックス） 共立出版
【464.9/N77/2(2)】＜執筆＞

◇ 金田利子（教育学部）

- ・「保育の質」の探求：「保育者－子ども関係」を基軸として ミネルヴァ書房
【376.1/KA52】＜編著＞

◇ 池田義昭（人文学部）

- ・社会構造における自己組織性：個と全体の相互連関性に関する基礎研究
【304/SH12】＜編＞

図書館では学内出版物及び関係者が執筆した図書資料を収集しています。出版されましたら是非、ご惠贈くださるようお願い申し上げます。

図書館の動き

◆会議

平成12年度第1回静岡大学附属図書館委員会
(平成12年7月4日(火) 於：図書館大会議室)
議題

1. 審議事項

- (1) 平成12年度附属図書館事業について
- (2) 平成12年度附属図書館予算について
- (3) 平成12年度図書購入費の配分について
- (4) 重複雑誌の不用決定について
- (5) その他

2. 報告事項

- (1) 委員会の整理・統廃合について
- (2) 平成12年度大型コレクション等要求について
- (3) 附属図書館セミナーについて
- (4) その他

第47回国立大学図書館協議会総会

(平成12年6月28日(水)～29日(木))

於：金沢市文化センター)

図書館長、事務部長、情報サービス課長が出席。

各委員会等の活動報告の後、理事・幹事の選出、民族学博物館・国際日本文化センターの加入、12年度事業計画案・予算案、国公私立大学図書館相互貸借に関する協定の改正、共通閲覧証の廃止等について協議した。

また、文部省学術国際局学術情報課長等による著作権問題や保存図書館等大学図書館を取り巻く諸課題について説明がなされた。

第52回東海地区大学図書館協議会総会・研究集会

(平成12年7月19日(水) 於：愛知工業大学)

事務部長が出席。

議長選出の後、報告事項として平成11年度事業報告、決算報告、監査報告及び各国公私立大学図書館の現況について報告があり引き続き、新規加盟館の承認、平成12年度事業計画・予算案、運営委員会規定の一部改正等について協議した。また、研究集会では石垣尚男愛知工業大学マーケティング情報学科教授による講演「ヒトの眼、動物の眼一生きるための視覚戦略」が行われ、質疑応答が活発に行われた。

平成12年度静岡果実大学図書館協議会総会

(平成12年7月24日(月) 於：日本大学国際関係学部)

図書館長、事務部長、情報サービス課長、図書館専門員が出席。

議長選出の後、報告事項として平成11年度経過報告、決算報告、監査報告等について報告があり引き続き、新規入会の承認、平成12年度事業計画・予算案、役員選出方法、加盟館の連携方策等について協議した。その後、前田俊光日本大学国際関係学部教授による講演「21世紀社会への価値観を創造する一初心忘るべからず生きるための視覚戦略」が行われた。

2000年10月～2001年3月の開館日程表

本館（静岡）

2000年10月						
日	月	火	水	木	金	土
	2	3	4	5	6	7
		10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30	31				

11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	4
	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18
	20	21	22		24	25
	27	28	29	30		

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1 2
	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	
	25	26	27			

2001年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					5	
		9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			

2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
	5	6	7	8	9	10
		13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28			

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
	5	6	7	8	9	10
		13	14	15	16	17
	19		21	22		

□ 開館 平日 9:00～22:00 土曜日 11:00～19:00

■ 開館 平日 9:00～17:00 各季の休業期間中

■ 休館 日曜・祝日、創立記念日、年末年始、各季の休業期間中の土曜日

※ その他の臨時の休館日は、別途お知らせします。

分館（浜松）

10月						
日	月	火	水	木	金	土
	2	3	4	5	6	7
		10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30	31				

11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	4
	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18
	20	21	22		24	25
	27	28	29	30		

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1 2
	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	

2001年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					5	
		9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			

2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
	5	6	7	8	9	10
		13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28			

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
	5	6	7	8	9	10
		13	14	15	16	17
	19		21	22	23	
	26	27	28	29	30	

□ 開館 平日 9:00～20:00 土曜日 9:00～17:00

■ 開館 平日 9:00～17:00 各季の休業期間中

■ 休館 日曜・祝日、創立記念日、年末年始、各季の休業期間中の土曜日

※ その他の臨時の休館日は、別途お知らせします。